

保育所等訪問支援自己評価表【事業所向け】（東神奈川）

令和6年9月実施

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制整	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		現状選任1名と児童発達支援・放課後等デイサービスの職員より構成しているため、利用者増に伴い配置人数を増やしていく予定。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			運動療育と机上療育の教室移動をスムーズにできるよう時間設定をより徹底する。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		今回のアンケートが初回となるので今後も続けていき、面談なども含め保護者様からのご意見・ご意向を参考にしていく。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価については現状実施しておらず。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		10月にオンライン研修の受講予定。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			現状ではまだチームというほどの人数ではないが、今の時点から打合せや役割分担については話し合える体制をとっていけるよう考慮する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			

18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			関係機関との連携がまだまだ薄いため、今後各機関を頼り一人ひとりのお子様に対して一番の支援ができるよう体制を整えていく。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			訪問先の先生方もお忙しいなか協力してくださっているため、分かりやすいツールをもとにお互いに共有をしていけるよう図っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			弊社のアドバイザーや専門職よりアドバイスを受けるとともに、外部の研修などにも積極的に参加予定。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			○	協議会や地域センターなどとも、今後積極的に情報交換などをしていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			併設の児童発達支援や放課後等デイサービスとの連携も密にとり、発達状況や課題の理解に取り組んでいく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		上記の併設事業所と連携して学校や園などでの集団生活についても議題に挙げられるよう展開していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			○	定期的に各保護者様と面談を実施し、随時生活課題やニーズ、お悩みについて確認を行い、必要に応じて助言や支援を実施。また保護者様からもアドバイスを頂くなどお互いに協力し合う姿勢で支援を心掛けている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		第三者機関(訪問先)のこともあるため内容に注意し、出せる範囲での情報発信を今後実施していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			

への説明等 非常時等の対応	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			○	弊社において実施していくと共に、訪問先での有事の場合の対処ができるよう事前に先生方にお聞きできるところはしておく。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		毎月の全体研修にて実施。訪問支援に関わる内容も多数実施予定。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			採用時と年に1回全スタッフを対象として実施。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			